

## 第1学年 生活科 活動略案

令和7年11月21日 5校時  
1年3組 32名

1. 単元名 「もっと!もっと!モルモット!」

2. 本時のねらい

モルモットの生態に合った家や遊び場を、グループの友達と協力して作ることができる。

3. 教師の願い

○モルモットと繰り返し触れ合う中で動物への親しみをもち大切にしようとする気持ちを育んでほしい。  
○モルモットの生態について調べたことを基に、グループで協働し活動に取り組んでほしい。

4. 前時の様子

前回までは、段ボールで家や遊び場を作っている。段ボールだと糞や尿が付き、すぐに壊れてしまうため木やプラスチックで家や遊び場を作ろうということになった。

5. 本時の展開(17/25)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等	評…評価
大白にあつたいえやあそびばをつくろう。		
1. 前時の振り返りをして、本時の流れの確認をする。 C: 落ち着く家を作りたい。 C: 遊び場を作りたい。 C: 迷路を作りたい。 C: 囲いを作りたい。	○各グループで、何を作っているのかを再確認し、目的意識を明確にして、活動できるようにする。	
2. グループに分かれて活動する。 C: 柵はあまり低いと、モルモットが逃げそう。 C: 広い方がいいから柵はたくさん用意しよう。 C: 迷路は道を狭くしよう。 C: チモシー玉はすぐに壊れそう。 C: チモシー玉はたくさん作っておこう。 C: トンネルは道を狭くしよう。	○安全管理を徹底するために、ハンマーの使い方を再確認する。  ○グループで全員が役割をもってすすめていけるように声をかける。 <b>評</b> モルモットの生態について調べて分かったことを基に、住みやすい家や遊び場を作ろうとしている。 【思考・判断・表現】(行動観察・発言)  ○全員が素早く静かに片付けができるように声掛けをする。	
3. 片付けをする。		
4. 本時の活動を振り返る。	○がんばったことや失敗したことなどの振り返りの視点を提示することで、次時の作成につなげる。	